

天使のはね※最軽量となる約890gのランドセル 「スゴ軽 エアーⅡ」を9月15日（金）より新発売

セイバン直営店および公式オンラインストア「天使のはねストア」での限定販売

株式会社セイバン（本社：兵庫県たつの市 代表取締役社長：泉 貴章 以下「セイバン」）は、天使のはね（※）最軽量となる約890gのランドセル「スゴ軽 エアーⅡ」を、2023年9月15日（金）より、セイバン直営店および公式オンラインストア「天使のはねストア」にて販売開始いたします。



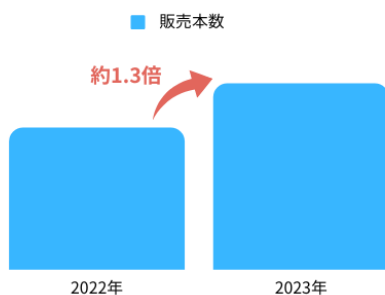
昨今、お客さまから「通学時の荷物が重いから、とにかく軽いランドセルが欲しい」というお声を多くいただきます。そこで、現行の天使のはね※最軽量モデル「スゴ軽 エアー」（約990g）をさらに軽くすべく、使用資材やパーツ、工法を見直し、耐久性は維持しながらも約100g軽量化を図り、超軽量「約890g」のランドセルを実現することができました。

※2003年に開発した樹脂パーツ「天使のはね」をはじめとした重量軽減機能を搭載したセイバンのランドセル

軽量モデルへのニーズの高まり

▶ 「スゴ軽 エアー」販売本数の昨年比は約1.3倍に

スゴ軽エアー 販売本数 昨年比



2022年と2023年の「スゴ軽 エアー」の累計販売本数を同条件で比較※したところ、その販売本数は約1.3倍になっており、軽量モデルへのニーズが高まっていることがわかります。

※「スゴ軽 エアー」の累計販売本数は下記期間にて比較

- ・2022年2月17日～2022年8月28日の累計販売本数
- ・2023年2月16日～2023年8月27日の累計販売本数

※詳細の販売本数は、非公表とさせていただきます。

製品概要

製品名：スゴ軽 エアーⅡ

カラー展開：5色（パステルパープル、ブラック、カーマインレッド、
ミルキーブラウン、マリンブルー）

重量：約890g

マチ幅：約13.0cm

価格：62,700円（税込）

特長：ヘリの無い構造で重量を軽くしながら、特許取得技術を使って「丈夫で大容量を兼ね備えた最軽量モデル」を実現しました。ランドセルを立てたままでも開閉しやすいマグネット式の錠前を使用した「タフコンパクト型」のランドセルです。

販路：セイバン直営店および公式オンラインストア「天使のはねストア」
※直営店ではブラック、パステルパープルの実物を展示しています。

URL：<https://store.seiban.co.jp/shop/g/gCB24-F-9090/>

※上記URLは9月15日（金）10：00より有効です。

販売開始日：2023年9月15日（金）10：00～



【軽量化をするためにこだわったポイント（一部）】

①錠前の代わりに「FIDLOCK®」を採用



開閉部分にはドイツ製のマグネットホック「FIDLOCK®」を採用。錠前差込みと金属製錠前を使用していません。

②マチベルトを無くしシンプルに



安全性を考慮した反射材は搭載しつつも、前ヒモを無くし、広マチのナスカンは右側のみに取り付けています。

③カブセ裏の素材を本体生地に変更



一般的なランドセルに使用されるカブセ裏の素材をランドセル本体生地へと変更しています。

④最軽量資材の選定



引手には穴がくりぬかれたデザインのものを採用するなど、細かな部分まで「軽さ」にこだわり資材を選定しました。

会社概要

会社名：株式会社セイバン

代表：代表取締役社長 泉 貴章

所在地：兵庫県たつの市龍野町片山379-1

企業サイト：<https://www.seiban.com/>

事業内容：ランドセル／関連グッズの企画・製造・販売／
その他鞆の企画・販売保育事業メディア事業

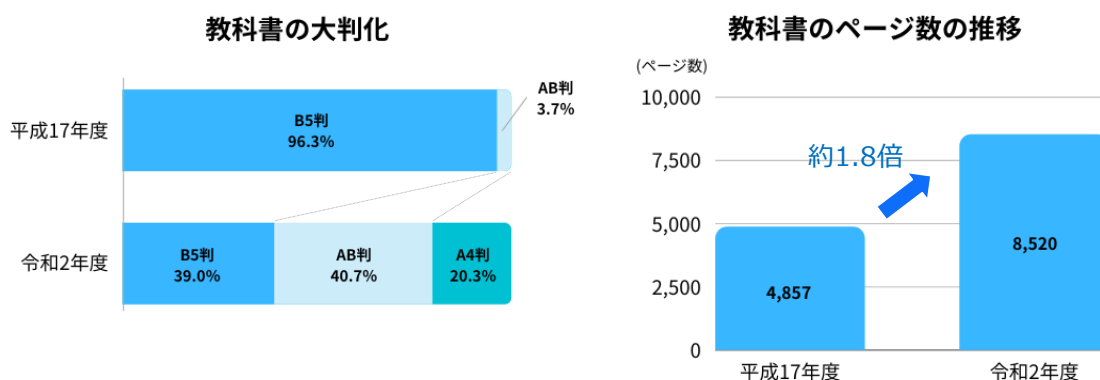


<参考資料>

「軽さ」に対するニーズが高まっている背景

■教科書の大判化やページ数増による荷物重量の増加

一般社団法人 教科書協会の「教科書発行の現状と課題（2023年度版）」によると、学習指導要領の改訂などに伴い、教科書サイズは平成17年度と比較して大判化しているほか、教科書のページ数は約1.8倍に増えていることがわかります。



(参照元：[一般社団法人 教科書協会「教科書発行の現状と課題（2023年度版）」](#))

■電子端末と教科書の持ち帰りによる荷物重量の増加

文部科学省初等中等教育局が2021年10月に発表した調査によると、全国の公立の小学校などの96.2%で電子端末の利活用を開始していることがわかりました。

また、2022年8月に発表した報告書によると、2024年度より、小学校5年生～中学3年生の「英語」でデジタル教科書を先行的に導入し、また当面の間はデジタル教科書と紙の教科書を併用する方針を発表しました。

(参照元：[文部科学省「端末利活用状況等の実態調査（令和3年7月末時点）（確定値）」](#)、[文部科学省「教科書・教材・ソフトウェアの在り方ワーキンググループ（第5回）配布資料資料2 中間報告（論点整理）」](#))

■「置き勉」から5年も、完全普及ならず

学用品や体育用品等が過重になることで、身体の健やかな発達に影響が生じかねないこと等の懸念や保護者等からの配慮を求める声が寄せられていることから、2018年9月6日、文部科学省は教科書や道具類などの荷物を学校に置いておく、いわゆる「置き勉」を認める通知を出しました。また、2022年11月には「家庭学習に必要な教材を端末で撮影し、画像データとして学習に活用することで、当該教材を学校に置いて帰ることも可能になる」との通知を行いました。

[文部科学省「児童生徒の携行品に係る配慮について」](#)

[文部科学省初等中等教育局「1人1台端末により撮影した教材の画像データを活用した学びについて」](#)

しかし、「置き勉」に関しては各地の教育委員会や学校、クラス単位でも対応が異なっている状況にあることから、今後も「軽さ」に対するニーズは高まっていくと考えられます。